

7番（小川義昭君）

肝心なところが市長の答弁がなくて残念なので、ちょっと市長に最終的にお聞きいたします。

まず、4番目に質問しました市長御自身、市民に向けての情報開示と市民の理解を得る方策、市みずからが描く事業の青写真を高々と掲げてというふうに質問いたしましたけれども、そこについて市長御自身どのように考えておられるのか、それから、今ほどずっと答弁をお聞きしていたんですけれども、現時点では算定できないとか、それから国やJRとの協議が必要とか、私が3月議会で質問したときと一緒になんです。まさに受け身のなんです。

ですから、私が今議会でお伺いしたかったのはそうじゃなくして、市として、市が主体としてこれからどうしていくんだと。そこら辺の意気込みを聞きたいんですよ、私は。

まず例えば、新幹線の新駅の事業費は既にでき上がっている同程度の駅があるじゃないですか。その費用が大体わかるじゃないですか。そして、その利用見込み数も今の状況、白山市の人口、いろいろなことを考えれば大体わかるじゃないですか。

それから、周辺の整備、これは国とかそれから今あったまちづくり構想とか3市1町じゃなくして、要は市長自身がどう考えているのか、駅を中心としたどういうまちづくりをここでしたいのか。そういったことをやれば大体規模が出てくるじゃないですか。

そうすると、駅舎周辺の開発事業費、そういったものの概数が出てくるんじゃないですか。それを早く議会、そして市民に示して、そして何よりも県ですよ。

白山市が本当に熱意があるんだなという訴えをまず県に言って、そして県と歩調を合わせて国とJRに求めていくべきですよ。市だけが単独で求めてはだめですよ。

だから、そういったことの数字、費用対効果、本当にこれは白山市の税金使うんですよ。それが市民にとって本当に素晴らしいことか。素晴らしいことであれば、皆さん賛同しますよ。そういった賛同を得る、同意を得る、理解を得る、このことが私は一番必要じゃないかなと。そして県に訴えて、県から国、JRへ持っていく。そういうふうな形が私はぜひ必要じゃないかなというふうに思います。

それと、あと一点質問いたします。

市長御自身、この新駅設置について、現時点で白山市民の皆さんからどのような反響があるか御理解されているのか。このことについて再質問いたします。